

番号	3-1-3	表題	導水式無閉塞水流発生装置（AS）のスカム堆積抑制効果について （その3）	
内容	<p>当社では、最初沈殿池及び導水渠でスカムを堆積させない課題に対して、点検口に容易に設置可能な小型の「導水式無閉塞水流発生装置」（以下「AS：アクアストリーマー」という）を開発し実用化している。</p> <p>ASシステムは、最初沈殿池の汚水をポンプから取水して「水流発生部」へ圧送し、水流発生部のノズルより噴射させることで水流発生部周囲の水を引き込む「導水効果」を発揮させて大量の水を下流側へ流し込むことにより、吐出口先端から約9m前方でスカムを流動させることを性能要件としたものである。</p> <p>今回は、令和2年度に行った検証報告の際に課題として抽出した、クロス水路全面（全長約20m）のスカム堆積抑制効果について解決を図るため、最初沈殿池クロス水路に設置された水流発生部（メイン）とは別に、補助的水流を発生させる水流発生部（サブ）を設置して検証した。</p> <p>その結果、2か所の水流発生部（メイン、サブ）からの合成流によりこれまでクロス水路の一部で滞留していたスカムがメイン水路側（沈殿池下流側）へ流動し、クロス水路全面のスカム堆積抑制効果を確認した。</p>			
キーワード	AS：アクアストリーマー、スカム堆積抑制効果、水流発生、最初沈殿池クロス水路			
処理区名	砂町処理区	位置区分	水再生センター	
職種区分	設備	施策区分	臭気対策、維持管理向上	
状態区分	調査 研究	新規性	新規知見あり	
実施年度	令和3年度	全体期間		
担当部署	東京都下水道サービス株式会社 技術部 技術開発課			
発表履歴	局内			
	局外	令和4年度 第59回 下水道研究発表会		
調査方法				
関連情報				